

# 令和元年度 事業報告

社会福祉法人 野の花学園

## 1. 総括

平成の時代が終わり、令和の幕開けとなった2019年。祝賀ムードも冷めやらぬ中、今年も数々のニュースが世の中をかけめぐった。年明け早々に74か月という戦後最長の景気回復が発表されたのも束の間、10月の消費税引き上げをきっかけに景気動向指数は悪化に転じた。また少子高齢社会の伸展により深刻化する人材難の対策として、働き方改革関連法が施行され、残業時間の上限や有給休暇の5日間義務化、更には来年の東京オリンピック・パラリンピックの混雑回避を見据えて、テレワークの導入が推奨され多くの企業で取り組みが始められた。

観光立国をめざす日本は、年々増え続けるインバウンドやラグビーのWC日本開催の成功と翌年予定される2020東京五輪に大きな期待を掛けていたはずである。

中国湖北省武漢市において2019年12月、原因不明の肺炎報告がなされたのを皮切りに、日本では2020年1月15日にコロナウィルス1例目の感染者が発生した。

あつという間に世界中に感染は広がり、パンデミックの様相を呈し、世界の感染者約776万人・死者約43万人、日本の感染者約1万7,000人・死者約900人（令和2年6月14日現在）に達し、なかなか収束の見通しが立たない状況にある。命が最優先されるのは当然のことながら、日本を含め世界経済は1929年の世界恐慌に匹敵するとまで言われている。年初に政府が胸を張って発表した戦後最長の景気回復は一転して戦後最悪の景気悪化へと奈落の転落となった。また、東京オリンピック・パラリンピックの混雑回避を見据えて、取り組みを始めたテレワークがコロナウィルス感染防止で早くも効果を発揮することになったのは皮肉なことである。

東京オリンピック・パラリンピックの開催が1年延期されることになったが、コロナウィルスの収束なりワクチンや治療薬の開発無しには1年後開催も危ぶまれる。

野の花学園は、1959年の学園創立から60周年という大きな節目の時を迎えたのを機会に、施設の大規模整備を目的に内外への寄付金の依頼を行ったところ、多くの方の賛同をいただき754人、45,266,856円（令和2年3月31日現在）の寄付額に達した。併せてこの60年間の活動が評価され、公益財団法人社会貢献支援財団から顕彰されることになったことは、60周年に錦上花を添えるものである。

本年度特記事項は大きくは4点にある。

その1つは、予てより進めてきた第一野の花学園の建て替えの問題である。

工事は順調に進み、建物本体は令和2年5月に完成し当月中に入所者の引っ越しを終える予定であり、長年の懸案であった第一野の花学園建て替え問題は令和2年8月の外構工事をもって全面竣工となり終了する予定となる。

2点目は、本年度の新規事業（4件）、定員増員事業（2件）一年目の運営状況であるが、いずれも順調な滑り出しとなり次年度以降の安定経営軌道に乗せる目途が見えてきたと思われる。

3点目は、創立60周年関係で、施設整備と寄付金は前述のとおりであるが、福岡市民会館を会場に「野の花学園『共に生きる』60年の軌跡」と題して準備を進

めてきた式典をはじめとする記念行事をコロナウィルスの感染防止を考慮して中止したことである。

野の花学園支援者及び功労者、第一学園の建設関係者、高額寄付者等々に感謝を申し上げる予定であったがあえなく中止になったことでその機会をなくしたのは残念でならない。幻となった「野の花学園60年の軌跡」は、次の周年の参考のため別紙のとおり記憶に留めることにした。

4点目は、当然ながらコロナウィルス問題である。

福岡県は特別警戒地域に指定され非常事態宣言が発出されることになったのを受け、福田量理事長を対策本部長に常務理事及び施設長の9名で構成する対策本部を立ち上げ、感染防止に努めた。対策の筆頭は第一、第二野の花学園の入所者に対する予防対策として保護者の面会禁止、納入業者の入室禁止などを断行した。日を迫って差し迫った問題はマスク、消毒用アルコール、利用者が感染したときの防護服等の不足であった。マスクに至っては再利用の仕方まで指示する事態となった。

戦々恐々とした見えない敵との戦いに明け暮れ、職員の緊張も限界に近い状況であったが令和2年3月末までには感染者を一人も出すことなく乗り切ることができた。

しかしながら、4月以降も予断を許さない状況に変わりなく、非常事態宣言下の体制を維持したところで臨みたい。

法人全体の経営は、これまでと変わらない順調な健全経営を継続しており、懸念されることは見当たらないが、翌年4月に予定される報酬改定次第ということになる。

本法人のコア事業収入は平成29年度17億400万円、平成30年度は17億8700万円、本年度は19億4,700万円となり、報酬改定による減額が予想されたが、通所施設の健闘が目立ちほぼ昨年並みで収めることができた。

## 2. 会議等の開催

### (1) 評議員会 年2回(うち、決議省略1回)

評議員8人

- 林 宗一 (野方菱光株式会社 代表取締役)
  - 小谷 広幸 (大野城市社会福祉協議会 プロジェクトマネージャー)
  - 高須賀 徹 (高須賀 徹税理士事務所 税理士)
  - 久保 美代子 (愛宕校区自治協議会事務局長・愛宕校区民生委員児童委員協議会会長)
  - 矢野 徹 (筑前町社会福祉協議会 会長)
  - 三好 正信 (宗教法人 金龍寺 住職)
  - 小林 秀幸 (株式会社 インテリジェンスキーマン 代表取締役)
- (令和元年6月28日就任) 岩木 勇人 (一般社団法人福岡青年会議所)  
(令和元年6月27日退任) 田島 敬悟 (一般社団法人福岡青年会議所)

### (1) 定時評議員会：令和元年6月28日(金) 11:00

会 場：ホテルニューオータニ博多

出席者：評議員8人中7人、理事7人中3人、監事2人中2人

議事録署名人：福田 量、久保美代子、三好正信

〔協議〕

- 第1号議案 平成30年度事業報告の件
- 第2号報告 平成30年度収支決算及び監査報告の件
- 第3号議案 次期役員選任の件

第4号議案 社会福祉充実計画の件

- (2) 第2回評議員会：令和2年3月6日（金）  
（決議の省略により評議員会の決議があったものとみなされた日）  
令和2年3月16日（月）  
同意書提出者：評議員8人中8人  
議事録作成者：福田 量

〔協議〕

第1号議案 定款変更の件

- (2) 理事会 年4回（うち、決議省略2回）

理事7人（任期満了、重任）

- 理事長 福田 量（医療法人社団福光会 理事長）  
常務理事 喜久 正和（社会福祉法人野の花学園 事務局長）  
理事 岩城 和代（岩城法律事務所 弁護士）  
理事 太田 輝幸（九州勧業株式会社 代表取締役会長）  
理事 津田 祐一（西日本新聞民生事業団 事務局長）  
理事 白川 祐治（株式会社福岡銀行 取締役副頭取）  
理事 堤 正直（社会福祉法人野の花学園 第二野の花学園施設長）

監事2人

- 菊池 武彦（菊池会計事務所 公認会計士）  
佐藤 純子（元 社会福祉法人野の花学園 第二野の花学園施設長）

- (1) 第1回理事会：令和元年6月13日（木） 11：00

会 場：ホテル日航福岡

出席者：理事7人中6人、監事2人中2人

議事録署名人：福田 量・菊池武彦・佐藤純子

〔協議〕

1. 平成30年度事業報告の件
2. 平成30年度収支決算及び監査報告の件
3. 評議員選任・解任委員会委員交代の件
4. 評議員交代の件
5. 次期役員の件
6. 社会福祉法人充実計画の件
7. 令和元年度第1回定時評議員会開催の件
8. 諸規程改正の件

- (2) 第2回理事会：令和元年6月28日（金） 12：20

会 場：ホテルニューオータニ博多

出席者：理事7人中6人、監事2人中2人

議事録署名人：福田 量・菊池武彦・佐藤純子

〔協議〕

1. 理事長及び常務理事の選任の件
2. 顧問推薦の件
3. 平成30年度に係る福祉・介護職員処遇改善の実施の件

#### 4. 令和元年度夏季賞与支給の件

##### (3) 第3回理事会：令和2年2月20日（木）

（決議の省略により理事会の決議があったものとみなされた日）

令和2年3月3日（火）

同意書提出者：理事7人中7人

確認書提出者：監事2人中2人

議事録作成者：福田 量

〔協議〕

1. 定款変更を評議員会へ提案する件

##### (4) 第4回理事会：令和2年3月26日（木）

（決議の省略により理事会の決議があったものとみなされた日）

令和2年3月31日（火）

同意書提出者：理事7人中7人

確認書提出者：監事2人中2人

議事録作成者：福田 量

〔協議〕

1. 令和元年度補正予算の件
2. 令和2年度事業計画の件
3. 令和2年度収支予算の件
4. 野の花学園創立60周年記念事業の件
5. 指定管理施設の新規受託の件
6. 松濤園内診療所の件
7. 事業所定員の件
8. 経理規程第66条による随意契約の件
9. 野の花富楽和の件
10. 施設長人事の件
11. 諸規程改正の件

##### (3) 評議員選任・解任委員会 年1回

外部委員：横尾 和彦（元 社会福祉法人野の花学園 理事・評議員）

委員：安元 照貴（社会福祉法人野の花学園 第一野の花学園施設長）

古川 慎太郎（社会福祉法人野の花学園 福岡市立ふよう学園施設長）

監事：佐藤 純子（元 社会福祉法人野の花学園 第二野の花学園施設長）

##### (1) 令和元年6月13日（木）14：00 ホテル日航福岡

出席者：委員4人中4人、役員2人

議事録署名人：横尾和彦、佐藤純子、安元照貴、堤正直

〔協議〕

1. 評議員辞任及び欠員に伴う新評議員選任の件

##### (4) 会計監査・業務監査（年6日）

監事 菊池武彦、佐藤純子

令和元年4月30日（火）第二学園拠点

5月 1日（水）ふよう学園、なのみ学園、就業（野の花）、



## (2) 施設整備

### (1) 第一野の花学園施設入所支援棟建替工事

平成28年12月1日から大規模な移転改築工事に着手、令和2年5月14日に新施設入所支援棟の施主検査を終えたところであるが、令和2年8月には外構工事を含むすべての工事及び検査を完了し、引渡しを受ける予定である。

#### ①設計監理

株式会社IWAKIRI. S. A. (那珂川市今光3-166)

#### ②移転改築工事

a. 契約金額 654,480,000円

追加契約金額 263,520,000円

合計 918,000,000円

b. 工期 平成28年12月1日～令和2年8月31日(延長)

c. 落札(施工)業者

株式会社東部産業(福岡市東区原田1丁目1番21号)

#### ③入札参加状況

11社案内中、5社参加

商号又は名称	商号又は名称
○ 株式会社へいせい	○ 松井建設株式会社 九州支店
○ 株式会社東部産業	株式会社百田工務店
株式会社内藤工務店	株式会社谷川建設
株式会社奥村組 九州支店	株式会社旭工務店
○ アスミオ. 株式会社	松尾建設株式会社 福岡支店
○ 梅林建設株式会社 福岡支店	

※○印は参加業者

#### ④遺跡調査について

第一野の花学園の建設予定地地下に弥生時代の遺跡が存在することが判明したことから次の通り発掘調査を実施することになった。

a. 遺跡名 今津古墳群A群・今津A遺跡

b. 調査対象面積 403㎡

c. 調査期間 平成29年10月～11月

d. 費用 1,865,770円

### (2) 第一野の花学園施設入所支援棟代替移転改築工事(空調換気設備工事)

#### ①設計監理

株式会社IWAKIRI. S. A. (那珂川市今光3-166)

#### ②空調換気設備工事

a. 契約金額(変更前) 44,604,000円

(変更後) 44,280,000円

b. 工期(変更前) 平成28年12月15日～平成30年2月28日

(変更後) 令和元年6月1日～令和2年5月31日

c. 契約(施工)業者

(変更前) 東テク株式会社(福岡市博多区榎田2丁目1番18号)

(変更後) 空輝工業株式会社(大野城市仲畑3丁目3番38号)

### ③契約の承継

(変更前)

東テク株式会社は、旧・株式会社ディー・エス・テックと合併のうえ事業承継をしたため、当該会社と契約を改めて締結した。

(変更後)

さらに、空輝工業株式会社（ダイキン工業株式会社推薦）が当初の見積指名業者であったものの施工管理体制に万全を期すため、ダイキン工業株式会社の提案により旧・株式会社ディー・エス・テック、後の東テク株式会社となった。

このような経緯があったものの、空輝工業株式会社において施工管理・品質管理ができるようになったことから、東テク株式会社から空輝工業株式会社に工事を承継のうえ、空輝工業株式会社に変更した。

### (3) 児童発達支援センター改修工事

#### ①設計監理

株式会社IWAKIRI. S. A. (那珂川市今光3-166)

#### ②改修工事

- a. 契約金額 97,200,000円
- b. 工期 平成30年11月30日～令和元年6月24日
- c. 施工業者 コスモ建設株式会社 (福岡市東区原田1丁目1番21号)

### (4) 第二野の花学園 空調設備更新工事

- a. 事業総額 32,400,000円
- b. 施工業者 サンユニティー株式会社 (福岡市博多区那珂6-25-17)
- c. 工事概要 令和元年6月1日～令和元年7月31日  
老朽化したGHP (ガスエアコン) を入替  
室内機 75台  
(利用者居室棟52台・交流棟16台・食堂棟7台)  
室外機 8台  
(利用者居室棟4台・交流棟2台・食堂棟2台)

### (3) 記念行事

#### (1) 検討委員会

創立60周年記念イベントを開催するため検討委員会を設立し、令和元年度は9回を開催、次のイベント案を決定した。しかし、今後の感染リスクを考慮し、苦渋の中止を決定した。

委員長	宮地 博司 (第三野の花学園 施設長)
委員	古里 大輔 (志摩日々菜々 支援課長)
	田中 義秋 (法人本部 システム係長)
	田代 淳子 (障害者就業・生活支援センター野の花 支援主任)
	西村 千幸 (ふよう学園 支援員)
	石尾 千穂 (第二野の花学園 支援員)
	松本 智美 (なのみ学園 支援員)
オブザーバー	喜久 正和 (野の花学園 常務理事)

創立60周年記念イベント（案）

テーマ：「野の花学園 共に生きる 60年の軌跡」

開催日：令和2年10月24日（土）

会場：福岡市民会館（1770名収容）

司会：田代 淳子（障害者就業・生活支援センター野の花 支援主任）

演目・演者：瑞宝太鼓（社会福祉法人 南高愛隣会）

記念特別講演（金澤 泰子氏）

記念演奏（精華女子高等学校吹奏楽部）

後援：福岡市・福岡県・西日本新聞社

**野の花学園 共に生きる 60年の軌跡**

2020.10.24 [土] 13:00~17:00 (OPEN1230)

会場：福岡市民会館 福岡市中央区天神5丁目1-23 チケット：前売 1,000円 当日 1,300円

【お問合せ】社会福祉法人 野の花学園 TEL 092-717-9987 FAX092-717-9988



**南高愛隣会 瑞宝太鼓**  
この一打に込める、メンバーの思い

【主催】 社会福祉法人 野の花学園  
【後援】 福岡県・福岡市・西日本新聞社  
【協賛】

○○○○	○○○○
○○○○	○○○○
○○○○	○○○○
○○○○	○○○○
○○○○	○○○○
○○○○	○○○○
○○○○	○○○○
○○○○	○○○○



記念講演会  
**金澤 泰子 氏**  
書家 金澤 翔子さんの母



**精華女子高等学校吹奏楽部**  
明るく・楽しく・元気よく、  
今できる最高の演奏、演技を！

<チケットお申込み>  
FAX：092-717-9988 E-mail: 60th@nonohana.or.jp

チケットをお申込みの際は、FAXまたは、E-mailに下記の必要事項を記載の上お申し込み下さい。

団体名			
申込者名 (ご担当者)	[フリガナ]	購入 枚数	枚
チケット 送付先 ご住所	〒	連絡先	(Tel) (Fax)

配布チラシ（案）



#### (4) 創立60周年記念誌

##### (1) 編集委員会

創立60周年記念誌の編集を検討する委員会を設立し令和元年度は5回開催した。

編集委員長	古川 慎太郎 (ふよう学園 施設長)
委員	小方 国恵 (五灯館大学校基礎課程本校 教務主任)
	永島 千絵 (なのみ学園 支援係長)
	田中 義秋 (法人本部 システム係長)
	平尾 愛美 (第一野の花学園 支援主任)
オブザーバー	喜久 正和 (野の花学園 常務理事)

#### (5) 特別表彰

##### (1) 受賞者

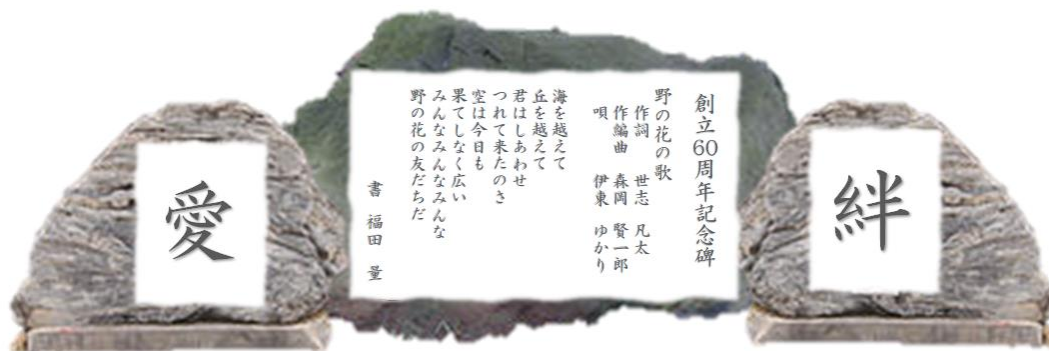
創立60周年を記念し次の特別表彰を決定した。

支援者 4名	宗 善規氏 (第一野の花学園土地提供者)
	藤原 繁氏 (野の花学園産業医)
	青山 みどり氏 (第一野の花学園ダンス指導者)
	矢部 弘希氏 (ふよう学園 ボランティア)
評議員 8名	評議員 林 宗一
	評議員 小谷 広幸
	評議員 高須賀 徹
	評議員 久保 美代子
	評議員 矢野 徹
	評議員 三好 正信
	評議員 小林 秀幸
	評議員 岩木 勇人
役員 9名	理事長 福田 量
	常務理事 喜久 正和
	理事 岩城 和代
	理事 太田 輝幸
	理事 津田 祐一
	理事 白川 祐治
	理事 堤 正直
	監事 菊池 武彦
	監事 佐藤 純子
職員 16名	鯉川 美佐子 (児童発達支援センター 事務員)
	仲西 和子 (第一野の花学園 事務員)
正規職員以外の うち10年以上勤 続者	火野坂 徹 (第二野の花学園 嘱託医)
	徳重 みさ子 (第一野の花学園 世話人)
	青木 みつる (第一野の花学園 世話人)
	高城 俊子 (野の花富楽和 支援員)
	八尋 洋子 (第二野の花学園 世話人)
	古里 陽子 (第一野の花学園 世話人)
	久保 恵美 (第二野の花学園 世話人)
	久家 久喜 (第二野の花学園 支援員)

長沼 修作 (第二野の花学園 支援員)  
 大齒 栄子 (生の松原特別支援学校放課後等支援事業 支援員)  
 陣内 美津子 (生の松原特別支援学校放課後等支援事業 支援員)  
 長永 美穂子 (生の松原特別支援学校放課後等支援事業 支援員)  
 平田 安雄 (第二野の花学園 支援員)  
 樋口 八郎 (第二野の花学園 支援員)

(6) 記念碑建立

創立60周年記念碑(案)を決定した。



創立60周年記念碑(案)

4. 実施事業等

(1) 第一種社会福祉事業

(1) 障害者支援施設 第一野の花学園

①日中活動支援:

生活介護(定員60名)、自立訓練(定員10名)、就労継続B型(定員24名)、就労移行(定員9名) ※平成29年度から休止中、

②生活支援:

施設入所支援(定員60名)、

③短期入所(定員6名)

(2) 障害者支援施設 第二野の花学園

①日中活動支援:

生活介護(定員65名)、就労継続B型(定員30名)

②生活支援:

施設入所支援(定員70名)

③短期入所(定員6名)

(3) 救護施設野の花(定員50名)

(2) 第二種社会福祉事業

(1) 障害福祉サービス事業

①共同生活援助事業

(第一野の花学園グループホーム13か所58名、第六野の花グループホーム1か所17名、グループホーム東4か所9名、フラワー1か所10名)

- ②居宅介護事業（ヘルパーステーション野の花）
- ③キャリアサポート福岡・天神（五灯館大学校専門課程本校を兼ねる）  
（就労移行支援 福岡20名、天神10名、就労定着支援 利用者数20人以下）
- ④第三野の花学園（就労継続B型 定員25名、就労移行 定員15名、  
就労定着支援 利用者数20人以下）
- ⑤障害福祉サービス事業所ちくぜん野の花  
（就労継続B型 定員25名、就労移行 定員15名、就労定着支援 利用者数  
20人以下）
- ⑥福岡市立ふよう学園  
（就労継続B型 定員42名、就労移行 定員12名、自立訓練 定員6名）
- ⑦福岡市立なのみ学園  
（就労継続B型 定員42名、就労移行 定員12名、自立訓練 定員6名）
- ⑧大野城市障がい者支援センターまどか・ゆいぱる  
（就労継続B型 定員10名、生活介護 定員20名）
- ⑨五灯館大学校基礎課程本校（自立訓練 定員20名）主たる事業所  
野の花学園キャリアワーク立花（自立訓練 定員 - 名）従たる事業所  
（休止後、令和2年3月31日付廃止）
- ⑩障害児通所支援事業（放課後等デイサービス野の花今津及び姪浜）定員20名
- ⑪障害児通所支援事業（放課後等デイサービス野の花下大利）定員10名
- ⑫障害児通所支援事業（放課後等デイサービス第六野の花） 定員10名

## （2）相談支援事業

- ①指定相談支援事業（福岡市西区第2障がい者基幹相談支援センター）
- ②指定相談支援事業（障がい者ライフサポートセンター野の花東）
- ③指定特定相談支援事業（大野城市障がい者支援センター）
- ④指定相談支援事業（フラワー）
- ⑤指定特定相談支援事業（障がい者ライフサポートセンター野の花西）
- ⑥障害者就業・生活支援センター事業  
障害者就業・生活支援センター野の花  
障害者就業・生活支援センターちくぜん  
障害者就業・生活支援センターちくし
- ⑦生活困窮者に対する相談支援事業（救護施設野の花）

## （3）地域生活支援事業

- ①移動支援事業（ヘルパーステーション野の花）
- ②日中一時支援事業  
（第一野の花学園（定員6名）、第二野の花学園（定員6名））

## （3）公益事業

- （1）地域生活総合支援センター「支援センター今津」
- （2）地域生活総合支援センター「支援センター夜須」
- （3）障害者雇用納付金関係助成金要領における職場適応援助者支援事業（独立行

- 政法人高齢・障害者雇用支援機構：ジョブコーチ)
- (4) 生の松原特別支援学校放課後等支援事業  
(福岡市委託事業：児童発達支援地区)
- (5) 福岡市西区第2障がい者基幹相談支援センター

(4) その他の事業（委託・補助事業・単独事業等）

- (1) 障害支援区分認定調査事業
- (2) 福岡県障害児等療育支援事業（第二野の花学園）

5. 会議

管理者会議

常務理事及び施設長を構成メンバーに毎月1回を定例とし、令和元年度は12回開催した。

経営企画会議

常務理事及び施設長を構成メンバーに毎月1回を定例とし、令和元年度は12回開催した。

6. 人材育成への取り組み

職員としての資質とサービスの質の向上を目的とした内部研修会等を自主企画・実施した。

- (1) 入職式・役職昇格者辞令交付式 平成31年4月6日（土）10:00  
於あいあいセンター
- (2) 新入職員入職時研修会 平成31年4月6日（土）13:00  
於あいあいセンター 参加者52名
- (3) 職員研修会 毎月2回（全23回）9:00～17:30  
於本部 受講者10名
- (4) 野の花学園合同研修会 令和元年9月28（土）～9月29日（日）  
於 夜須高原青少年自然の家

(1) 研修テーマ

「あなたが施設長、野の花をどうする？～働く人が幸せになる法人～」

- (2) 参加者 第1部：177名 / 第2部：181名 / 宿泊：156名

(3) 内容

【第1部 研修会】

「大切なあなたを守るために」

講師：福岡県警察本部生活安全部少年課中央少年サポートセンター

少年育成指導官 白木 里英 様

【第2部：研修発表会】

①新里 朋子（野の花富楽和）「働く人の幸せはみんなでつくる！」

②三宅 似奈（放課後デイサービス野の花）

「今週どう過ごす？いつもと違う新しい週末を」

③吉見 雅貴（ふよう学園） 「新・野の花学園」

④末岡 正行（まどか・ゆいぱる）「9日8日7日は野の花の日」

～サービス等利用計画(ライフプラン)を活用して職員の幸せに貢献する～

⑤富永 裕輔 第一野の花学園

「笑顔の絶えない」職場づくりにチャレンジ!!」

⑥中牟田 聖也(障害者就業・生活支援センター野の花) 「未来を見据えて」

⑦内田 由子(第二野の花学園)

「利用者・保護者・職員が安心できる環境を整える」

最優秀賞 吉見 雅貴 (ふよう学園)

奨励賞 中牟田 聖也(障害者就業・生活支援センター野の花)

(5) 永年勤続表彰

10年 喜久 正和(野の花学園 事務局長)

佐藤 進 (野の花富楽和)

伊達 光次(児童発達支援センター)

20年 安元 照貴(第一野の花学園)

松田 孝幸(野の花富楽和)

山口 ゆず(第二野の花学園)

30年 武内 佳子(野の花富楽和)

(6) 職員顕彰授与(国家資格取得)

社会福祉士:橋本 ふじみ(なのみ学園)

精神保健福祉士:末岡 正行 (まどか・ゆいぱる)

大久保 絵梨(障害者就業・生活支援センターちくし)

介護福祉士:豊田 小百合(なのみ学園)

7. 野の花学園後援会との連携

長年にわたり当法人を側面から支援していただいている後援会との連携強化を図り、施設運営についての理解を深めてもらうことに努めた。

(1) 後援会会員への情報提供

法人の広報紙「野の花だより」に後援会の記事欄を設け、行事案内等を行った。

(2) 後援会が行う事業への支援

(1) 春のつどい(4月20日(土) 於 第二野の花学園)

(2) 第6回野の花学園チャリティーゴルフ大会

(11月11日(月)8:00 於 筑紫ヶ丘ゴルフクラブ)

8. 各種団体との連携と参画

法人及び施設の上部組織等を中心に、各種委員会、研修会、行事等へ参加することにより連携を図ることに努めた。

(1) 日本知的障害者福祉協会

(1) 九州地区知的障害者福祉協会

(2) 福岡県知的障がい者福祉協会

(2) 福岡県社会福祉法人経営者協議会

(3) 福岡市民間障がい施設協議会

(4) 全国地域生活支援ネットワーク